

野外焼却（野焼き）はやめよう

皆さんは、戸外で大なり小なり物を燃やした経験があるのではないだろうか。物を燃やせば、避けられないのが「煙」と「におい」。昨今のごみはプラスチックなどの化学製品が多く、燃やせば独特のにおいや多量の黒煙が出ます。



野焼きは禁止されています

健康意識が高まるにつれ、これらの煙やにおいが原因の健康被害を心配する人が大変多くなってきました。他方では、「洗濯物が汚れたり、においが付いたりして困る」「火の粉が飛んできて火事になりそうになった」など、燃やす人には分からないところで迷惑している人も多いためです。一口に野焼きといっても例外的に認められているケースもあります。しかしその場合でも、周囲の環境（近くに住居や燃えやすい物がないか）や天候（風の有無や空気の乾燥）、燃やす物や量（悪臭や黒煙、火の大小）、時間（昼夜の別、焼却時間の長短）など、多くの点で十分な注意と配慮が必要となります。冬は、特に空気が乾燥しますので、安易な焼却行為はほしくないように心掛けましょう。



パソコンは粗大ごみには出せません

不用になった家電品には、「家電リサイクル法」でリサイクルが義務化されている家電4品目「テレビ」・「冷蔵庫」・「エアコン」・「洗濯機」があります。「資源有効利用促進法」で「パソコン」もリサイクルが義務化されています。不用になったパソコンを廃

棄する場合は、粗大ごみの日に出さず、購入した販売店・メーカーなどに問い合わせ、適正な処理をお願いします。

【リサイクル対象の品目】

デスクトップパソコン本体・ノートパソコン・液晶ディスプレイ・CRTディスプレイ・液晶ディスプレイ一体型パソコン・CRTディスプレイ一体型パソコン

【対象に含まれる物】

マウス・キーボード・スピーカー・ケーブル・テンキーなどの製品に同梱されていた装置で、パソコンと一緒に排出するもの

【対象外の物】

プリンタ・スキャナ・ワープロ専用機など

■問い合わせ先

市生活環境課
☎22-11899

瀬戸内発見伝

巻の二

花光寺山古墳

東京国立博物館には、かつて岡山県内から出土した考古資料が数多く所蔵されています。このうち牛窓町鹿忍樋ケ谷から出土した装飾付須恵器や長船町服部に所在する花光寺山古墳の石棺から出土した銅鏡や太刀など3件87点が岡山に里帰りしています。いずれも瀬戸内市の古代の繁栄を物語る貴重な資料です。この機会を逃しては見られないものばかりですので、ぜひ郷土の逸品を自分の眼で確かめてください。

今回里帰りした装飾付須恵器と花光寺山古墳について紹介します。

装飾付須恵器

明治45年以前に鹿忍樋ケ谷で他の須恵器とともに出土した脚台付装飾壺です。形は、長方形のスカシ孔が4段、4列開けられた脚が付いた壺の肩につば状の縁が付けられ、

その上に小像と小壺が交互に配置されたものです。場面は三つあり、一つ目が相撲をする2体の小像とそれを見る行司といわれている人物がいる場面。二つ目が女性と2対の像・猪・犬が配された、狩猟の1場面と推測される場面。三つ目が2体の馬が向かい合っている場面を表現したと推測され、古代のまつりの場面を知ることができ、注目される資料です。

長船町服部に所在する花光寺の裏山の頂部に位置する墳長86mの前方後円墳で、瀬戸内市最大級の規模を持っています。前方部は後円部と比べ高さが低く、幅が狭いなど、前期古墳の特徴をよく示しています。墳丘の表面には葺石と埴輪片がみられます。葺石は川原石を使ったもので、後円部の裾によく残っています。かつて古墳が乱掘され、再調査されました。この時に後円部の頂部に埋められていた凝灰岩製の組み合わせ長持形石棺の



長船町花光寺山古墳出土品

側室から今回展示されている銅鏡2、鉄刀4、鉄剣5、銅鏃17、鉄鏃56、刀子1、鉄斧1、鉋5など豊富な副葬品が見つかりました。

さらに詳しく知りたい人は次の町史をご覧ください。

- ・牛窓町史『資料編Ⅱ』
- ・長船町史『史料編(上)』

展示期間 1月5日(水)～

3月21日(月)〈予定〉

場所 岡山県立博物館

休館日 毎週月曜日(月曜日

が祝日の場合は翌日)

入館料 大人200円(65歳以

上・中学生以下は無料)

■問い合わせ先

岡山県立博物館

☎086-272-1149

岡山県立博物館 特別陳列 「里帰り！古代吉備の名品」